

バリアフリー化の進捗状況と市町村バリアフリー基本構想の作成状況に関する調査結果を公表しました

国土交通省は、平成32年度末までに1日当たりの平均的な利用者数が3000人以上の全ての旅客施設でバリアフリー化を実施するなどの新たな目標を掲げております。平成23年3月末現在のバリアフリー化の進捗状況は下記のとおりです。

また、全国^{※1}の市町村を対象に「高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律」に基づくバリアフリー基本構想(P5参照)の作成状況(平成23年3月末現在)を調査した結果、基本構想“作成済み”と“今後作成予定”は、合わせて1,750市町村中367市町村でした。

※1 東日本大震災などにより被災し調査困難となった市町村については、昨年度の回答を今年度の回答として整理。

公共交通機関におけるバリアフリー化の進捗状況〈ポイント〉

○全旅客施設 ○車両等

(1日平均利用者数3,000人以上)	・鉄軌道車両	49.5%
・段差の解消	・ノンステップバス	35.5%
・視覚障がい者誘導用ブロック	・福祉タクシー	12,256台
・障がい者用トイレ	・旅客船	18.1%
	・航空機	81.4%

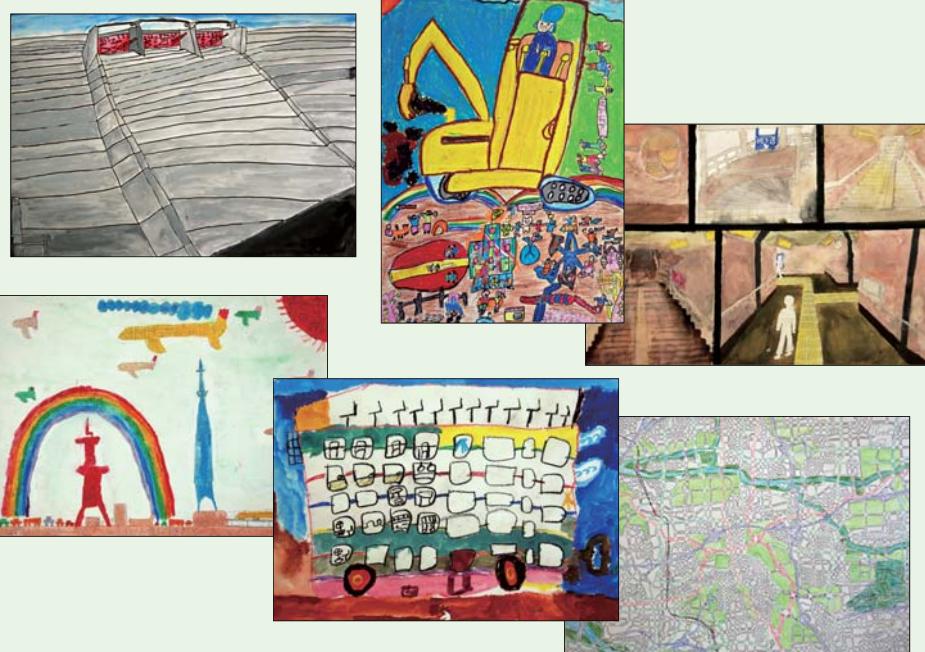
お問い合わせ：総合政策局安心生活政策課

TEL. 03-5253-8111(内線24215、25518、25514)

「国土と交通に関する図画コンクール」入賞作品発表

鉄道や飛行機などの乗り物、道路、橋、ダム、駅、空港、港のある風景、住んでいるまちの様子、道路やビルなどの工事現場の様子、日常の光景や人々の暮らしの様子、未来の都市や乗り物など、国土交通省の仕事に関係するものをテーマとした図画を全国の小学生のみなさんに募集したところ、4,812点の応募をいただきました。

明日の日本を担う子どもたちのいきいきとした視線で描かれた入賞作品86点を紹介しています。



キッズコーナー <http://www.mlit.go.jp/kids/>

MLIT
NAVI

Information
12/1月号
2012年